

# 国立青少年教育振興機構 国立夜須高原青少年自然の家 ドリームB棟宿泊室等機械設備改修工事

図面番号	図 面 名 称	縮尺
L-000	表紙・図面リスト	A1:N.S A3:N.S
特-001	機械設備特記仕様書(1)	A1:N.S A3:N.S
特-002	機械設備特記仕様書(2)	A1:N.S A3:N.S
L-001	工事区分表	A1:N.S A3:N.S
M-001	案内図・配置図	A1:1/1000 A3:1/2000
M-002	断面図	A1:1/100 A3:1/200
M-003	空調・換気設備 機器表, 系統図	A1:N.S A3:N.S
M-004	空調設備 空調配管図	A1:1/100 A3:1/200
M-005	換気設備 ダクト図	A1:1/100 A3:1/200
M-006	衛生設備 機器・器具表, 系統図	A1:N.S A3:N.S
M-007	衛生設備 1階配管図, 受水槽廻り詳細図	A1:1/100, 1/20 A3:1/200, 1/40
M-008	衛生設備 2階配管図	A1:1/100 A3:1/200
M-009	衛生設備 1階配管詳細図	A1:1/50 A3:1/100
M-010	衛生設備 2階配管詳細図	A1:1/50 A3:1/100
M-011	空調・換気・衛生設備 機器・器具表 (撤去図)	A1:N.S A3:N.S
M-012	空調設備 空調配管撤去図	A1:1/100 A3:1/200
M-013	換気設備 ダクト撤去図	A1:1/100 A3:1/200
M-014	自動制御設備 配線撤去図	A1:1/100 A3:1/200
M-015	衛生設備 配管撤去図	A1:1/100 A3:1/200
M-016	衛生設備 器具表・トイレ配管詳細撤去図	A1:1/50 A3:1/100

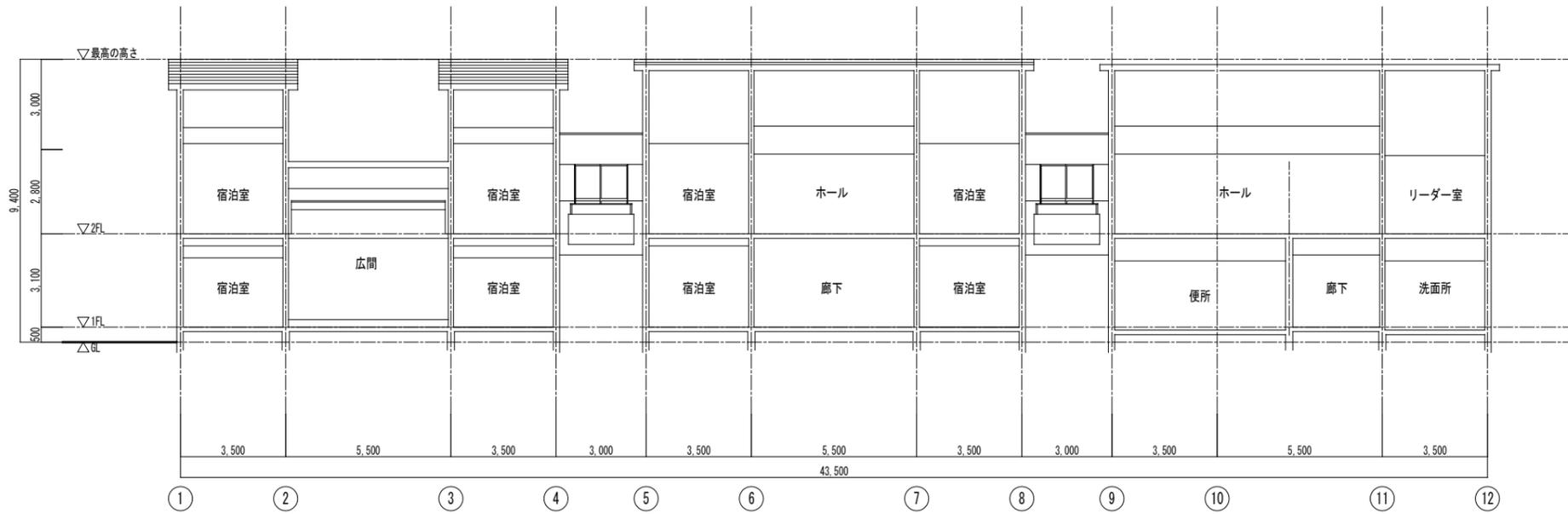


<p>●空気調和設備</p> <p>●設計温湿度</p> <table border="1"> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="2">外気</th> <th colspan="4">屋 内</th> </tr> <tr> <th>一般系統</th> <th>一般系統</th> <th>電 氣 室</th> <th>動 物 室</th> <th>湿度</th> <th>湿度</th> </tr> <tr> <td>夏 季</td> <td>34.8℃</td> <td>35.7℃</td> <td>26.0℃</td> <td>成行</td> <td>25.0℃</td> <td>成行</td> <td>21.0℃±2.0℃</td> <td>40.0%以上</td> </tr> <tr> <td>冬 季</td> <td>1.8℃</td> <td>59.2℃</td> <td>22.0℃</td> <td>成行</td> <td>28.0℃</td> <td>成行</td> <td>21.0℃±2.0℃</td> <td>40.0%以上</td> </tr> </table> <p>○鋼板製煙道 (第3編1.1.3) [第3編1.1.1]</p> <p>○ダクト (第3編1.14.1～3) [第3編1.2.1]</p> <p>○チャンパー (第3編1.14.4) [第3編1.2.1]</p> <p>○ダンパー (第3編1.15.6～14) [第3編1.3.1]</p> <p>●配管材料 (第2編2.1.1～2) [第2編2.1.1] &lt;第2編2.1.1&gt;</p> <p>○弁類 (第2編2.2.1～6) [第2編2.1.1]</p> <p>○油面制御装置 (第2編2.3.5)</p> <p>●保温及び消音内貼 (第2編3.1.1～2) [第2編3.1.1] [第2編3.1.3]</p>		外気		屋 内				一般系統	一般系統	電 氣 室	動 物 室	湿度	湿度	夏 季	34.8℃	35.7℃	26.0℃	成行	25.0℃	成行	21.0℃±2.0℃	40.0%以上	冬 季	1.8℃	59.2℃	22.0℃	成行	28.0℃	成行	21.0℃±2.0℃	40.0%以上	<p>○排煙設備</p> <p>○ダクト (第3編1.14.1) [第3編1.2.1]</p> <p>○排煙口の形式</p> <p>○排煙口開放及び復帰方式</p> <p>○排煙風量測定</p> <p>○自動制御設備</p> <p>○システム構成 その他</p> <p>○電気計装用配線 (第4編1.5.1) [第4編1.2.1]</p> <p>●衛生器具設備</p> <p>●自動洗浄装置及びその組み込み小便器</p> <p>●自動水栓の電源種別 (第5編1.1.7) [第5編1.1.1]</p> <p>○衛生器具ユニット (第5編1.1.3) [第5編1.1.1]</p> <p>●給水設備</p> <p>●配管材料 (第2編2.1.2) [第2編2.1.1]</p> <p>●量水器 (第2編2.2.16) [第2編2.1.1]</p> <p>○量水器樹 (第5編1.8.4) [第5編1.1.1]</p> <p>●弁類 (第2編2.2.1～6) [第2編2.2.1]</p> <p>○水栓柱 (第2編2.2.23) [第2編2.1.1]</p> <p>●管の地中埋設深さ (第2編2.7.2) [第2編2.5.2]</p> <p>●建築物導入部</p> <p>○引込納付金等</p> <p>●給水装置</p> <p>●保温 (第2編3.1.5) [第2編3.1.3]</p>	<p>○垂鉛鉄板 ○普通鋼板 (厚 1.6mm)</p> <p>○パネル形 (○天井取付 ○壁取付) ○スリット形 (○天井取付 ○壁取付) ○ダンパー形 (○天井内取付 ○ )</p> <p>○電気式 (遠隔操作 ○要 ○不要)</p> <p>建築設備定期検査業務基準書 2016年版 ((一財)日本建築設備・昇降機センター)の排煙風量の検査方法に準じる。</p> <p>別図による。</p> <p>別図による。</p> <p>●個別感知フラッシュ方式 ( )</p> <p>●AC電源 ○自己発電 ○</p> <p>別図による。</p> <p>配管材料は ( ○下記による。 ●図示による。 )</p> <p>(1) 一般配管 ○ (2) 地中埋設配管 ○ (3) 水道直結配管 ○引き込みは水道事業者の指定により、量水器以降の地中埋設配管は (○ )とし、他の部分は (1)による。</p> <p>●親メーター (○現地表示式(直読式) ○遠隔表示式(○電文式 ○ﾊﾞﾙｽ式) (○貸与品 ●既存) )</p> <p>○子メーター (○現地表示式(直読式) ○遠隔表示式(○電文式 ○ﾊﾞﾙｽ式) (○買取り ○) )</p> <p>○水道事業者指定品 (○ 貸与品 ○買取り) ○標準図M/C形</p> <p>●図面に特記なき場合の耐圧は、5K とする。 ●ステンレス鋼管に取り付ける弁類は、ステンレス製とする。 ●水道直結部分の耐圧は、10K とする。</p> <p>○</p>	<p>●配管材料 (第2編2.1.2) [第2編2.1.1]</p> <p>○台所流し等の排水管</p> <p>○滴水試験継手</p> <p>○放流納付金等</p> <p>●給湯設備</p> <p>●配管材料 (第2編2.1.2) [第2編2.1.1]</p> <p>●弁類 (第2編2.2.1～6) [第2編2.2.1]</p> <p>●保温 (第2編3.1.5) [第2編3.1.3]</p> <p>●配管材料 (第2編2.1.2) [第2編2.1.1]</p> <p>●屋内消火栓種別 (第5編1.5.2) [第5編1.2.1]</p> <p>●屋内消火栓閉閉弁 (第5編1.5.2) [第5編1.2.1]</p> <p>○地中埋設配管の接合</p> <p>●保温 (第2編3.1.5) [第2編3.1.3]</p> <p>○不活性ガス消火設備 (第5編1.5.6) [第5編1.2.2]</p> <p>○連結送水管設備 (第5編1.5.3)</p> <p>●ガス設備</p> <p>●配管材料 (第6編2.1.1) [第6編2.1.1] (第6編3.1.1)</p> <p>●メーター (第6編2.1.7) [第6編2.1.1]</p> <p>○ガス漏れ警報器 (第6編2.1.3) [第6編2.1.1]</p> <p>○一般事項 (第11編1.1.1～3)</p> <p>○機材 (第11編2.1.1～3)</p> <p>○施工 (第11編2.2.1)～2.3.1)</p>	<p>○特殊ガス等設備事</p> <p>○一般事項 &lt;第5編1.1.1～2&gt;</p> <p>○機材 &lt;第5編2.1.1～2.4.3&gt;</p> <p>○施工 &lt;第5編3.1.1～3.2.8&gt;</p> <p>○雨水利用設備</p> <p>○システム構成 その他</p> <p>○配管材料 (第2編2.1.2) [第2編2.1.1]</p> <p>○量水器 (第2編2.2.16) [第2編2.1.1]</p> <p>○弁類 (第5編1.9.1) [第5編1.1.1]</p> <p>○事前調査 (第7編1.2.1)</p> <p>○掘削 (第7編2.1.1) (第7編3.1.1)</p> <p>○試験 (第7編3.1.4)</p> <p>●撤去工事</p> <p>●撤去内容 [第1編4.1.1～4.2.4]</p> <p>●発生材の処理等 [第1編5.1.1～2]</p>	<p>1) ガスの種別は、下記による。 ○窒素ガス (○高純度 ○一般) ○ヘリウムガス (○高純度 ○一般) ○水素ガス (○高純度 ○一般) ○酸素ガス (一般) ○アルゴンガス (○高純度 ○一般) ○炭酸ガス (一般) ○圧縮空気 (○高純度 ○一般) ○圧縮空気 (空気圧縮機)</p> <p>○現地表示式 (直読式) ○遠隔表示式 (ﾊﾞﾙｽ式)</p> <p>○図面に特記なき場合の耐圧は、5K とする。</p> <p>○既設井分布調査 ○地中熱交換井 ○法的規制調査 ○法的規制調査 ○地表探査 ○地質情報の収集、整理 ○代表井による熱交換効率の把握 (測定方式：直流方式) ○周辺環境調査 (騒音・振動測定)</p> <p>掘削工法は下記による。 ○パーカッション式 ○ロータリー式 ○ダウンザホールハンマ式 ○回転掘削式 ○ロータリーパーカッション式</p> <p>地中熱交換器挿入完了後の水圧試験は下記による。</p> <p>●改修後に使用しない既設開口孔埋め・補修は本工事とし、タッチアップ等の仕上げは別途建築工事とする。 ●アスベスト撤去処分は関係法令等に基づき適切に処理すること。 ●図示による。</p> <p>発生材の処理は、下記による</p> <p>(1) 引渡しを要するもの</p> <p>1) 品 名 2) 引渡し先 3) 集積場所 4) 集積方法</p> <p>(2) 特別管理産業廃棄物</p> <p>1) 品 名 2) 処理方法</p> <p>(3) 現場において再利用するもの</p> <p>1) 品 名 2) 使用場所</p> <p>(4) 再生資源化するもの</p> <p>1) 品 名 2) 処理方法</p> <p>(5) その他の発生材</p> <p>1) 品 名 : 全発生材 2) 処理方法 : 関係法令に従い適切に処理</p>
			外気		屋 内																															
一般系統	一般系統		電 氣 室	動 物 室	湿度	湿度																														
夏 季	34.8℃	35.7℃	26.0℃	成行	25.0℃	成行	21.0℃±2.0℃	40.0%以上																												
冬 季	1.8℃	59.2℃	22.0℃	成行	28.0℃	成行	21.0℃±2.0℃	40.0%以上																												
<p>●換気設備</p> <p>●ダクト (第3編1.14.1～3) [第3編1.2.1] &lt;第3編1.2.1 ～4&gt;</p> <p>●ダンパー (第3編1.15.6～14) [第3編1.3.1]</p> <p>●シールする排気ダクトの系統</p> <p>○チャンパー (第3編1.14.4) [第3編1.2.1]</p> <p>●保温 (第2編3.1.4) [第2編3.1.3]</p>	<p>●図示による。</p> <p>○低圧ダクト (○コーナーボルト工法 (長辺の長さが1,500mm以下の部分) ○アングルフランジ工法) ●スパイラルダクト (●低圧 ○ ) ○高圧1ダクト (範囲は図示による。) ○厨房系統の排気用ダクトは、標準仕様書第3編2.2.2.2のダクトの板厚の項より1番手厚いものとする。(範囲は図示による。)</p> <p>空気調和設備の当該項目による。</p> <p>○厨房系統 ●浴室 (シャワー室、脱衣所を含む) ○D/C用排気ダクト及び動物室排気ダクトはB+Cシールを追加で施すこと。</p> <p>空気調和設備の当該項目による。</p> <p>○全熱交換ユニット用の外気取入れダクトの保温範囲は全てとする。 ○全熱交換ユニット用の排気ダクトの保温範囲は外壁から1mとする。 ○D/C用外気取入れダクトの保温範囲は屋内部分全てとする。 ○D/C用排気ダクトの保温範囲は外壁から1mとする。 ○動物室用ダクトの保温範囲はS Aダクト全て、R Aダクトは外壁から1mとする。 ○煙道の保温範囲は屋内部分全てとする。 ●排気ダクトは外壁より1m程度保温とする。</p>	<p>埋設深さ (管の上端深さ) は原則として、 車両通行部分は (●600mm ○ mm) その他の部分は (●300mm ○ mm) 以上とする。</p> <p>●建築物導入部の変位吸収方法は、標準図 (建築物導入部の変位吸収配管要領) による。 (○ (a) ○ (b) ○ (c) ) ○別図による。</p> <p>○要 (○本工事 ( ) ○別途) ●不要</p> <p>●給水装置の構造及び材質の基準に関する省令 (平成26年2月28日厚生労働省令第15号)における基準適合部品を用いること。</p> <p>保温は ( ●下記による。 ○図示による。 )</p> <p>(1) 天井内・PS ● c2・(口)・Ⅶ (2) 暗渠内 ● d・(ハ)・Ⅶ (3) 屋外露出 ● e2・(ハ)・Ⅶ</p>	<p>●ガス設備</p> <p>●配管材料 (第6編2.1.1) [第6編2.1.1] (第6編3.1.1)</p> <p>●メーター (第6編2.1.7) [第6編2.1.1]</p> <p>○ガス漏れ警報器 (第6編2.1.3) [第6編2.1.1]</p> <p>○一般事項 (第11編1.1.1～3)</p> <p>○機材 (第11編2.1.1～3)</p> <p>○施工 (第11編2.2.1)～2.3.1)</p>	<p>○撤去工事</p> <p>●撤去内容 [第1編4.1.1～4.2.4]</p> <p>●発生材の処理等 [第1編5.1.1～2]</p>	<p>●改修後に使用しない既設開口孔埋め・補修は本工事とし、タッチアップ等の仕上げは別途建築工事とする。 ●アスベスト撤去処分は関係法令等に基づき適切に処理すること。 ●図示による。</p> <p>発生材の処理は、下記による</p> <p>(1) 引渡しを要するもの</p> <p>1) 品 名 2) 引渡し先 3) 集積場所 4) 集積方法</p> <p>(2) 特別管理産業廃棄物</p> <p>1) 品 名 2) 処理方法</p> <p>(3) 現場において再利用するもの</p> <p>1) 品 名 2) 使用場所</p> <p>(4) 再生資源化するもの</p> <p>1) 品 名 2) 処理方法</p> <p>(5) その他の発生材</p> <p>1) 品 名 : 全発生材 2) 処理方法 : 関係法令に従い適切に処理</p>																															

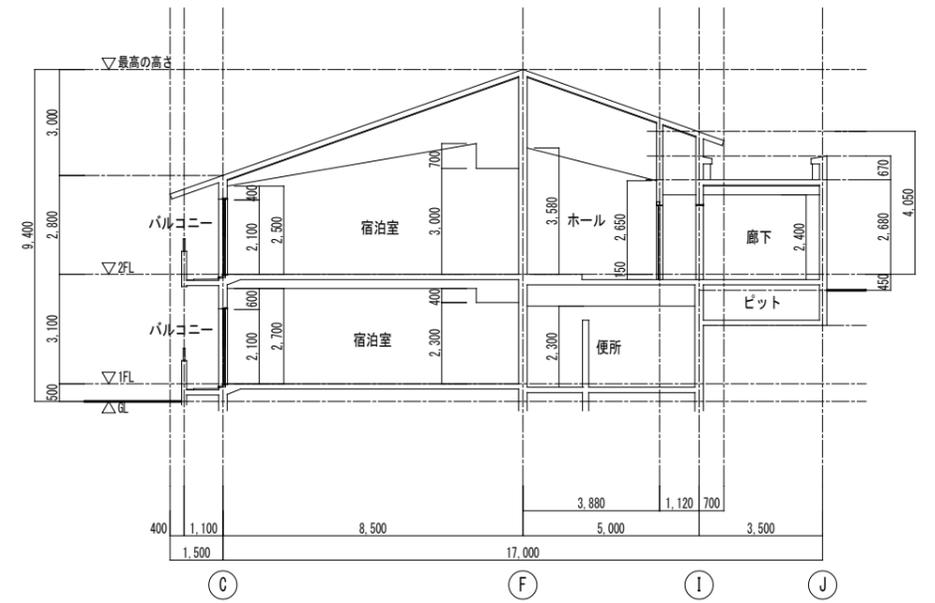
区分		建築	電気	機械	土木	学部	備考	区分		建築	電気	機械	土木	学部	備考	区分		建築	電気	機械	土木	学部	備考			
項目	名称							項目	名称							項目	名称							項目	名称	
名称	適要							名称	適要							名称	適要									
コンクリート穴あけ	鉄骨工事鉄筋スリーブ入れ	○					墨出し共	排煙防火ダンパー	リレー取付まで①			○				動力、照明用電源、接地引込み							○	穴あけ共		
"	梁、壁木製型枠入れ	○					墨出し、補修除く	煙感知器連動シャッター	リレー取付まで②			○				コンセント接地	ビット内、機械室内						○	湯沸室、ラウンジ		
"	梁、壁スリーブ入れ（将来対応用含む）	○	○	○			ボイド等	煙感知器連動防災垂れ壁	リレー取付まで③			○				インタホン配線	シャフト外						○	実験室、研究室		
"	床スラブ木製型枠入れ	○					墨出し、補修除く	上記①～③用煙感知器	リレーまでの配管配線共			○				"	シャフト内						○	給湯室		
"	床スラバスリーブ入れ	○	○	○			ボイド等	道路側溝用排水	L型・U型と管布設			○				芝生、種子吹き付け							○	他		
同上開口部補強	鉄筋切断及び補強筋入れ	○						制御盤	制御盤以降の配管、配線共			○	○			法枠、モルタル吹き付け							○	図示のサインは建築工事		
天井改め口	改め口取付及び、開口部補強	○					ボード切込、墨出し共	同上接続（一次側）	制御盤主閉器までの配管配線			○			接地共	コンクリート擁壁								○		
開口補強を必要としないボード等の切開		○						屋内消火栓	消火ポンプ、制御盤				○			補葺								○		
軽量鉄骨下地開口部補強	天井及び壁、ボード切開	○					照明器具、空調吹出口、結露気力ラリ等	屋内消火栓起動リレー				○				窓枠の穴開	ダクト等の貫通部							○		
鉄骨下地開口部	電気・機械設備関係開口部			○	○			同上表示灯及び起動装置					○			はと小屋（設備立上りユニット）の穴あけ								○	床置き型は除く	
壁・衛生陶器等の下地補強	露出形器具取付用（電気）	○						自動火災報知設備					○			金属バネ穴まわりシール	ダクト等の貫通部							○	積層書架のみ施設部（建築）	
床下改め口	改め口取付及び、開口部補強	○					墨出し共	連絡送水口	産板等				○			ダクト撤去部の穴埋補修								○		
流し台	ステンレス製（排水金具含む）	○					水切り板・同穴あけ共	独立煙突					○			配管配線撤去部の穴埋補修	ビス穴共							○	テレビ、ビデオ、視聴覚器、OHP、映写機	
"	排水管の接続			○				同上煙道	鋼板製				○			上記穴埋部の仕上								○		
"	陶器製			○				同上避雷設備					○			多目的トイレ手すり								○		
洗面器等取付化粧板	ライニング含む	○						配管配線用ビット	蓋共				○			和便器の撤去及び補修	配管は除く							○		
ルーフトレ		○						二重床の配管、配線用開口	フリーアクセスフロア等				○			洋便器の撤去及び補修								○		
立どい	防露工事共	○					図示の範囲	コンクリートシャフト改め口					○			流し台	研究室・実験室・会議室・セミナー室					○	配管接続含む	○	電話機	
雨水排水管	1FLから排水幹線までの配管			○			第1樹を含む	天井フック					○			"（陶器製手洗器）	講義室							○	放送設備（非常放送）	
"	幹線の配管			○				機械室の防音遮音処理					○			"（ステンレス製）	給湯室							○	テレビ共聴設備	
生活排水、実験排水	建物から第1樹までの配管			○			第1樹を含む	特殊サイズ鏡					○			ドラフトチャンバー	本体							○	入退室管理システム	
"	第1樹から排水幹線までの配管			○												"	排風機							○	ブックディティクションシステム	
"	幹線の配管			○												"	渡り配線・制御							○	実験室と機器との接続ケーブル	
大型機械基礎		○						避雷設備					○			"	ダクト							○	実験室と機器との接続ケーブル	
一般機器類の基礎	配管、アンカーボルト、仕上、防水共	○	○					保守管理用タラップ、はし					○		トレンチ、床下部、屋上	"	電源制御ケーブル							○	実験室と排風機との接続ケーブル、接続は手動工事	
機械用アンカーボルト型枠入れ又は施工アンカー	ボイラ、冷凍機等機械設備関係機器			○			墨出し共	室内テレビ用吊金物					○			"	電源制御ケーブル用配管							○	実験室と排風機との接続ケーブル用配管	
"	自家発電機その他電気関係機器			○			墨出し共	防火区画貫通部処理・補修					○	○	モルタル充填	冷却水設備	装置								○	薬品棚
屋外貯油槽	躯体	○						機器・配管取付後の壁、床などの補修					○	○		"	渡り配線・制御							○	実験室と機器との接続ケーブル	
"	貯油槽埋戻し及び配管			○				同上補修後 仕上					○			"	配管							○	特殊室ベース照明	
共同溝	歩床コンクリート共			○				テレビアンテナ					○			N2設備	装置							○	クレーン	
建物、共同溝、接続トレン		○						グリストラップ及びガソリ	コンクリート製（ふた共）				○			"	配管							○	ピクチャーレール	
同上接続部止水板		○		○				"	ステンレス鋼板製（ふた共）				○			"	渡り配線、制御							○	実験室と機器との接続ケーブル	
防火水槽		○		○				同上補修	区画貫通処理				○		モルタル充填	ヘリウム回収	装置							○	同上補修	
防火用水池用給排水				○				電動シャッター、自動扉の配管配線	二次側。操作盤、押しボタン取付共				○			"	配管								○	アスロック穴あけ
各種槽類	コンクリート製	○						同上配線配管、接続	一次側				○			"	渡り配線、制御								○	実験室と機器との接続ケーブル
"	SUS、FRP製			○				ユニットシャワー本体	振付共				○			メイン主幹盤									○	電力検針、コンセントなし電力検針あり
各種槽類 基礎		○						同上用配管	一次側接続まで。SWの取付配線				○			実験室									○	電力検針、コンセントあり
換気扇取付	ダクトのあるもの			○			天井扇等	同上用配管	接続まで				○			OA盤									○	電力検針、コンセントあり
"	壁、サッシ等への取付（材共）			○			取付板取合防水共	冷蔵、冷凍、恒温恒湿、シールド、防音、無音室	現場製作もの内装				○			共用盤									○	暗幕・カーテン・ブラインドボックス
同上用枠、取付板等	木製、アルミ製、鉄製	○					サッシ取合防水共	"	プレハブの内装				○	○		住宅用盤									○	電力検針、コンセントあり
外壁取付ガラリ	給排気用、ダクト接続フランジ共	○						昇降機設備本体	三方枠、同取付後の壁補修まで（ト口詰め）				○			実験機器への接続ケーブル									○	実験室と機器との接続ケーブル
内壁取付ガラリ		○					遮光ガラリ共	同上配線配管、接続	一次側				○			実験機器用ブレーカ	クリンルーム実験室								○	ローパーティション
ガラリへの給排気ダクト接続				○				昇降機設備用機械室	天井フック、床シリンダーコンクリート防塵塗料、搬入用等開口、換気ガラリ共				○			机、椅子、棚、連結椅子、応接セット、ベッド									○	
煙感知器連動防火戸		○						同上換気扇取付	サーモスイッチ共				○			教壇、教卓、作業台、実験台、OA机、ラック									○	
同上用煙感知器	リレー及びリレーまでの配管配線共			○				三方枠周囲の壁仕上げ					○			白板、黒板、掲示板	室内のもの								○	図示以外のもの
								各階出入口用開口	敷居取付用持出し共																	
洗面カウンター		○					洗面器は機械	ビット内防水					○													
便所廻り手すり				○			下地補強は建築																			
鏡		○																								



改修前

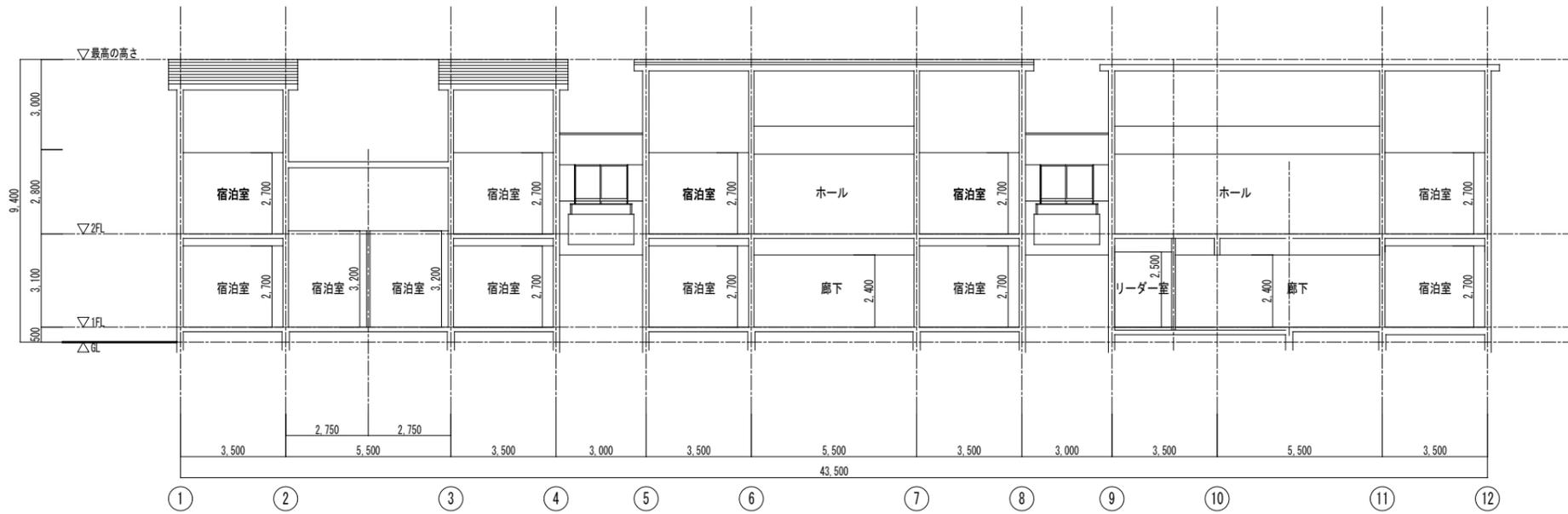


A-A断面図

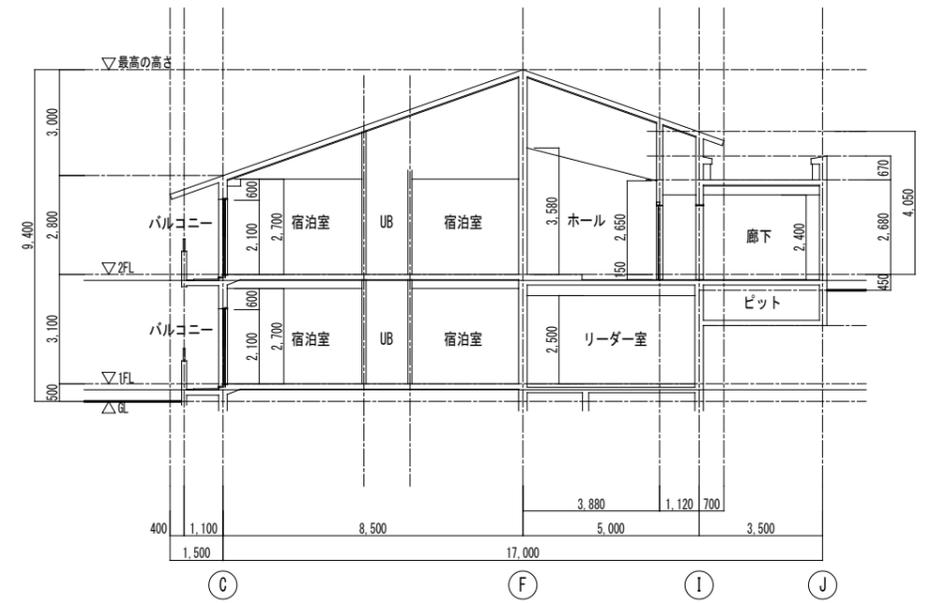


B-B断面図

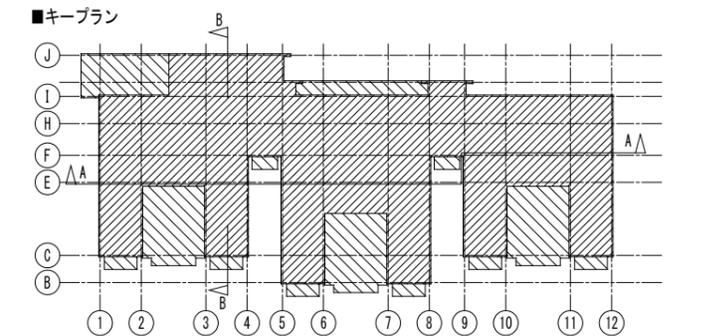
改修後



A-A断面図

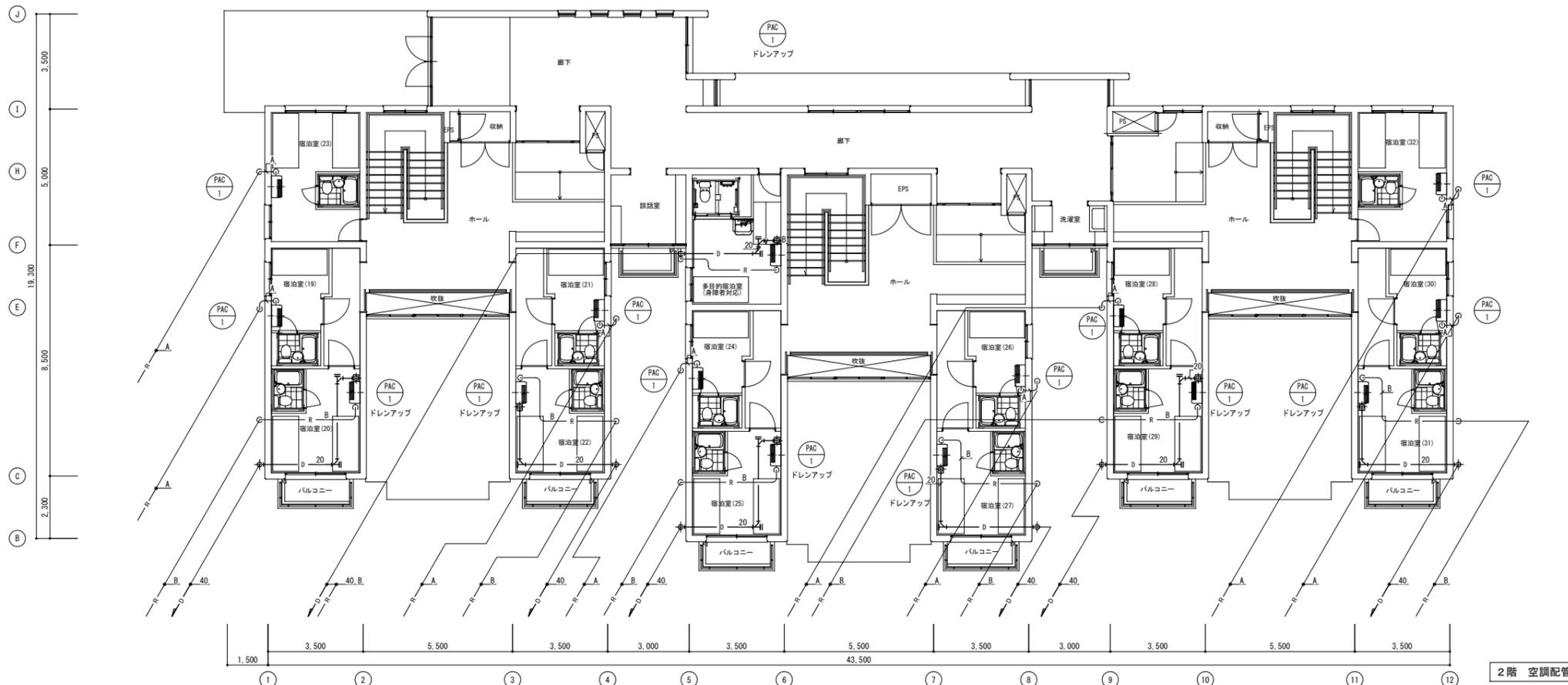


B-B断面図

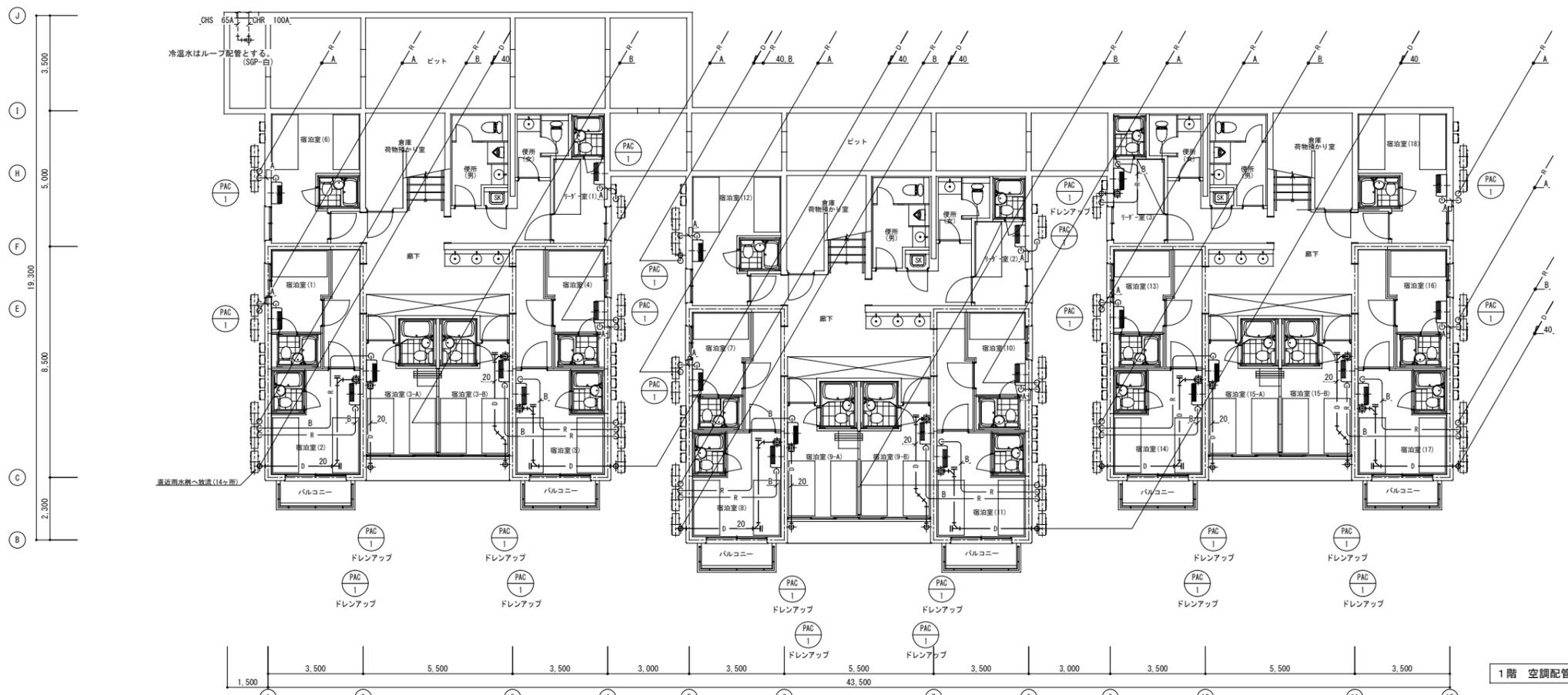


NOTE		株式会社あい設計東京支社一級建築士事務所 <small>一級 東京都知事登録 第55499号</small>	独立行政法人国立青少年教育振興機構 <small>財務課長 室長 施設管理室</small>	JOB No	DATE	TITLE	DWG No
		設計業務名称 国立夜須高原青少年自然の家ドリームB棟 宿泊室修繕発注支援業務	一級建築士 第320926号 池亀 聡史	建築設備士 第2862-7002MT号 菅 信一郎	国立青少年教育振興機構 国立夜須高原青少年自然の家 ドリームB棟宿泊室等機械設備改修工事 断面図	SCALE A1 : 1/100 A3 : 1/200	M 002

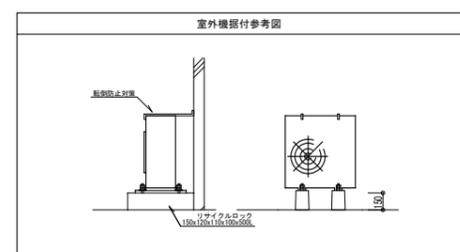




2階 空調配管図



1階 空調配管図



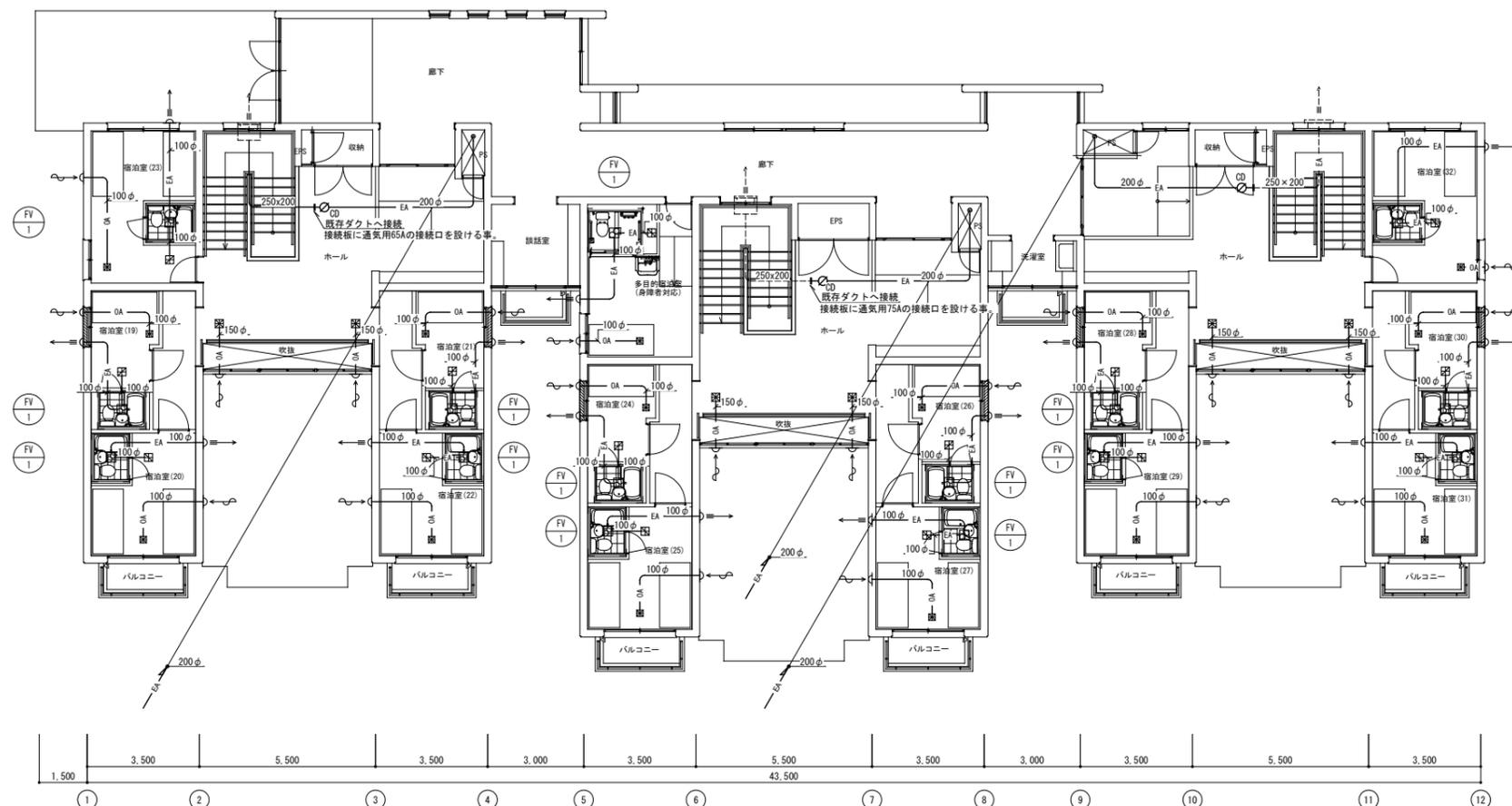
冷媒配管サイズ

記号	液管(φ)	ガス管(φ)	ドレンホース	外壁貫通サイズ
A	6.35	9.52	φ14(断熱付)	150
B	6.35	9.52	-	100

※冷媒配管サイズ及び配管種類は参考とし、メーカー基準に準拠する事。  
 配管種類：EM-CSE-S 2.0m2-3C  
 ※冷媒管外壁貫通部は、記載のサイズ程度のコア抜きを見込む事。

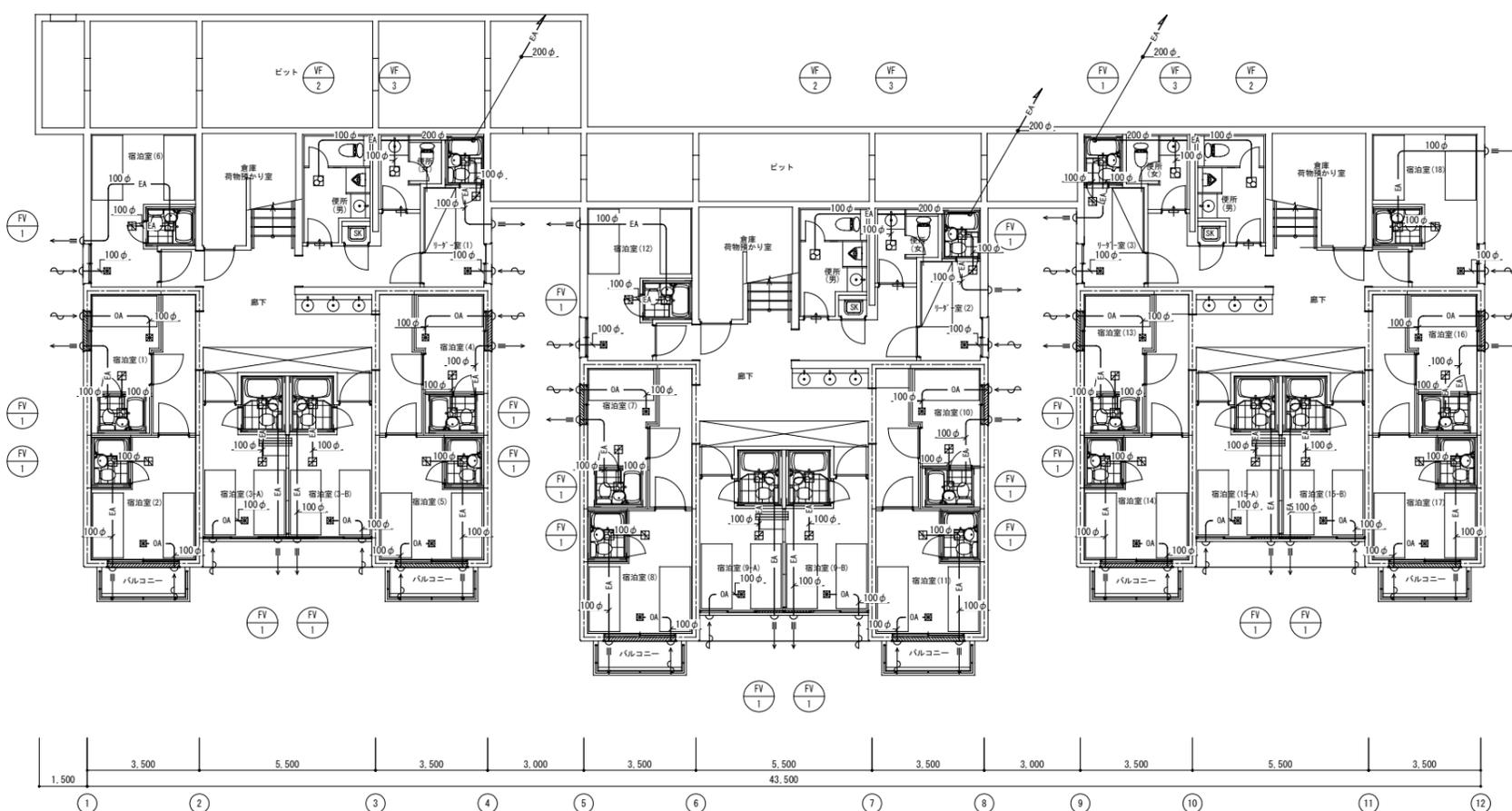
- 注)
- ドレン配管は防臭対策を施すこと。
  - ドレン排水は、雨水系統とする。
  - 室内外機間配管は冷媒管共巻きとする(本工事)
  - 室内機は、コンセント(電気工事)へ接続すること。
  - 「エアコン」-取付は照明スイッチの位置に準じること。
  - ドレン配管外壁貫通部は、100A程度のコア抜きを見込むこと。
  - 既存貫通部を極力利用する事。
  - コア明け部分は非破壊検査(レントゲン調査など)を行う事。

J 3,500  
I 5,000  
H 19,300  
F 8,500  
E 2,300  
C  
B

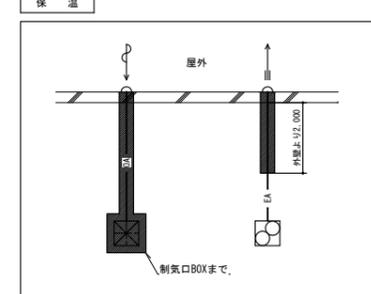


居室	DA: 1500MM	15
WS (F付): 250×250		
BOX: 350×350×200H		
ホール	DA: 1750MM	6
WS (F付): 250×250		
BOX: 350×350×250H		

J 3,500  
I 5,000  
H 19,300  
F 8,500  
E 2,300  
C  
B



居室	DA: 1500MM	24
WS (F付): 250×250		
BOX: 350×350×200H		



注) - VCは記載なき限り、ガラリ (SUS製、深型、防鳥網、指定色) とする。  
 - VCサイズは記載がない場合はダクト径と同サイズとする。  
 - 外壁貫通部は水返し勾配をとること。  
 - ㊦はドアガラリ又はアンダーカットを示す。  
 - ㊦はアルミハネル部にてVCを取付けること。  
 - 外壁貫通部は、ダクト径のワンサイズ大きい口径にてコア抜きを行う事。  
 - 既存貫通部を極力利用する事。  
 - コア明け部分は非破壊検査 (レントゲン調査など) を行う事。

衛生設備 機器表

記号	名称	仕様	数量	電気容量			設置場所	備考
				φ	V	W		
PTW-1	受水槽付 加圧給水ポンプユニット	有効容量：1.0m <sup>3</sup> 水槽材質：FRP製 能力：40φ x 100L/min x 20m 付属品：標準付属品共	1	1	100	750	屋外	気相部材：樹脂被覆 アンカ材：SUS製 基礎：建築工事
GH-1	ガス給湯器	潜熱回収型 給湯専用屋外壁掛型 給湯能力 20号 LPG消費量 37.5KW(2.68kg/h) 凍結予防ヒータ マイコン リモコン付 配管加圧共	39	1	100	40 (113)	屋外	

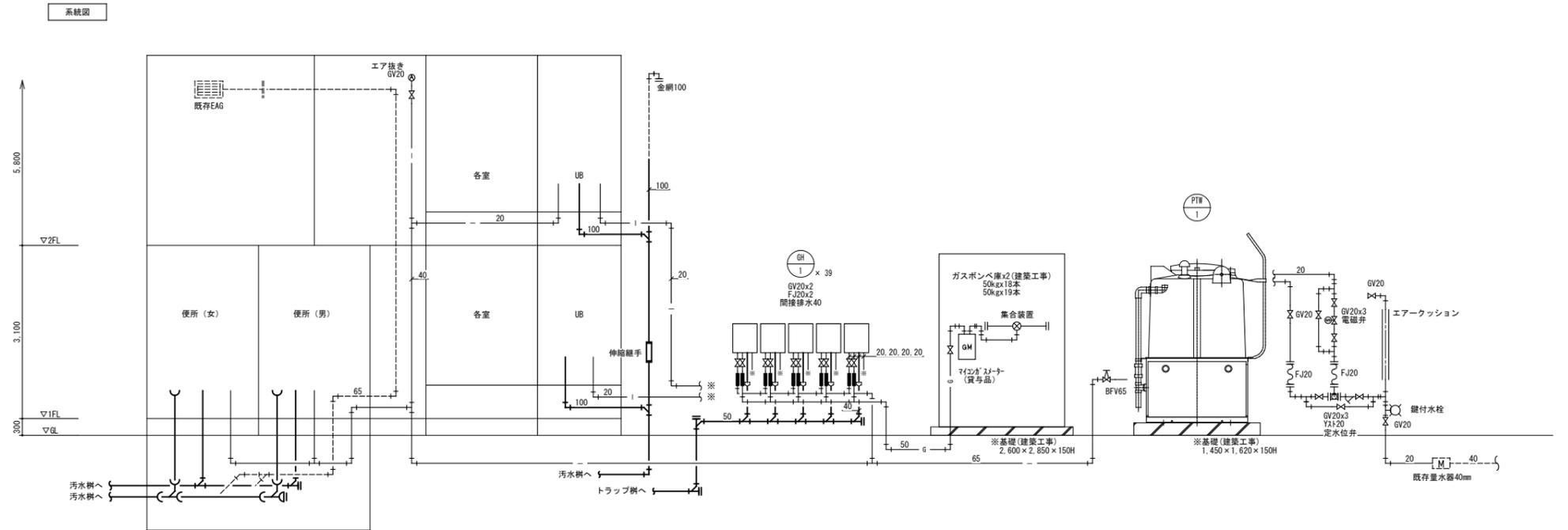
※メーカー標準仕様とする。  
電気容量は、参考値とする。  
給湯設備の転倒防止措置は平成24年国土交通省告示第1447号適合とする。

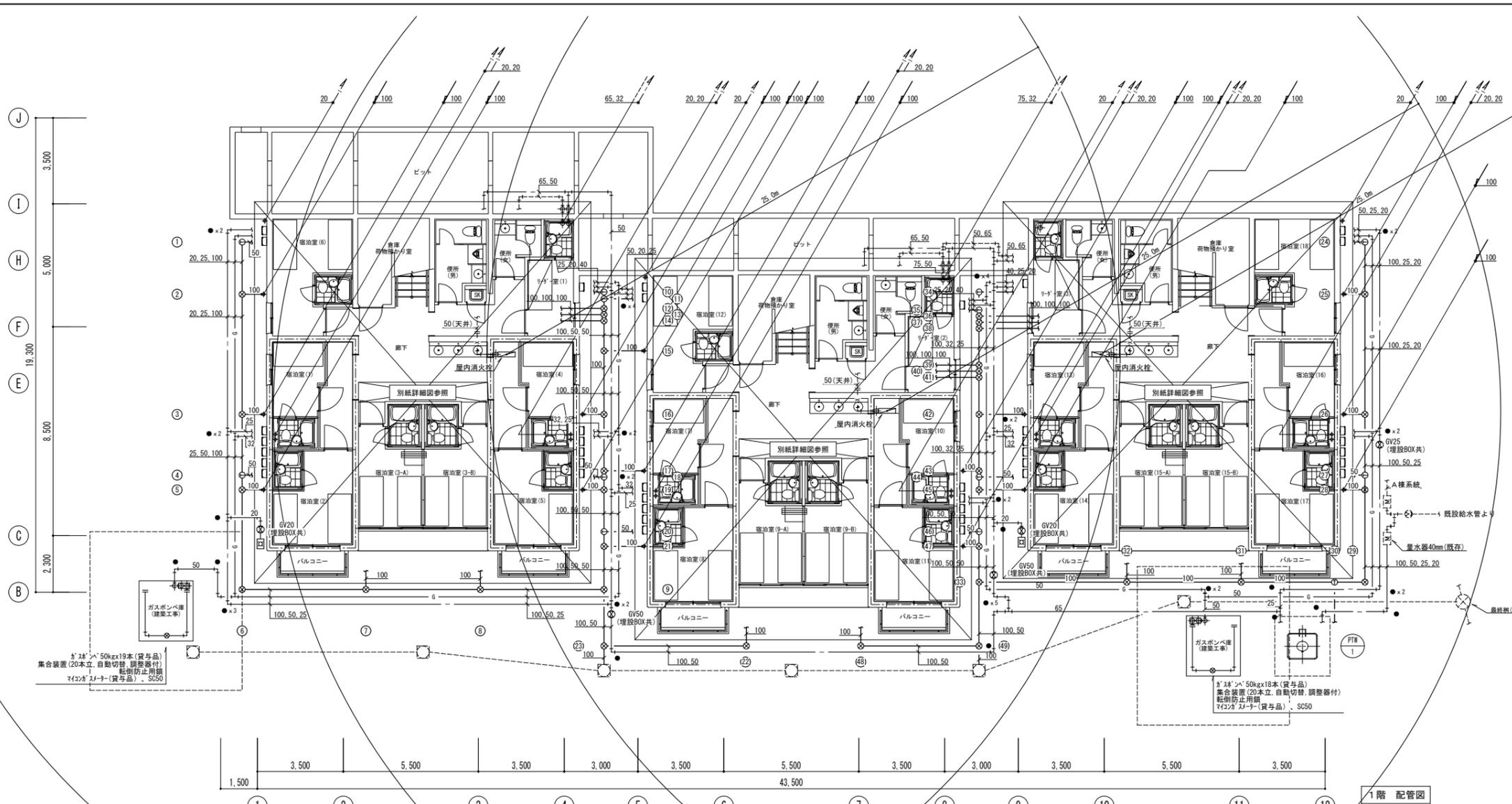
衛生設備 衛生器具表

名称	参考型番 (TOTO)	主要付属品 (標準付属品一式共)	数量	1階												2階	屋外	備考
				便所 男	便所 女	S K	廊下	便所 男	便所 女	S K	廊下	便所 男	便所 女	S K	廊下			
洋風大便器	CS597BMS	SH596BAYR(タンク部) TCF5830AUR(洗浄暖房便座) YH702(棚付二連紙巻器) エコリモコン	6	1	1					1	1							
小便器	UFSS90R		3	1					1									
カウンター式洗面器	LS30	TENA12A(自動水洗) TLK05203J(水石けん)	15	1	1			3	1	1			3	1	1		3	
車椅子対応洗面器	MWHF(750)	TENA766(自動水洗) (建築工事)	1														1	
掃除流し	SK5100	TL155AFR(立水栓)	3					1										
散水栓	T28AUNH13	キー式 ホース接続型 水栓柱(樹脂製 H=900)	2															2
横水栓	T28AKUH13	キー式 ホース接続型	1															1

※上表中の品番は参考品番を掲げたものであり、同等品以上とする。  
消費電力は、参考値とする。

凡例	記号	名称	材質・仕様
---	給水管	硬質塩化ビニルライニング鋼管(一般部：VB、埋設：VD) ポリエチレン管	
— —	給湯管	一般配管用ステンレス鋼管(拡張式) ポリエチレン管	
—G—	ガス管	ガス会社指定材料	
—C—	汚水管	硬質ポリ塩化ビニル管 (VP)	
—	雑排水管	硬質ポリ塩化ビニル管 (VP)	
----	通気管	硬質ポリ塩化ビニル管 (VP)	
—	排水管(屋外露出)	硬質ポリ塩化ビニル管(耐酸性)(カラーVP)	
—X—	消火管	配管用炭素鋼管 (SGP-白)	
—	仕切弁	JIS 10K	
—	バタフライ弁	JIS 10K	
—	伸縮継手		

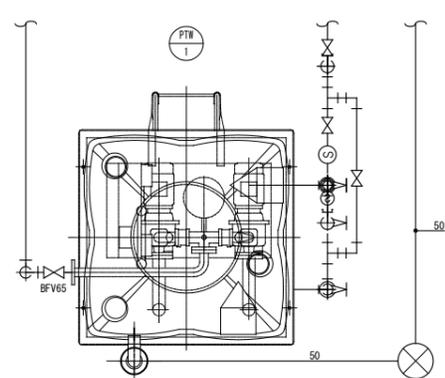




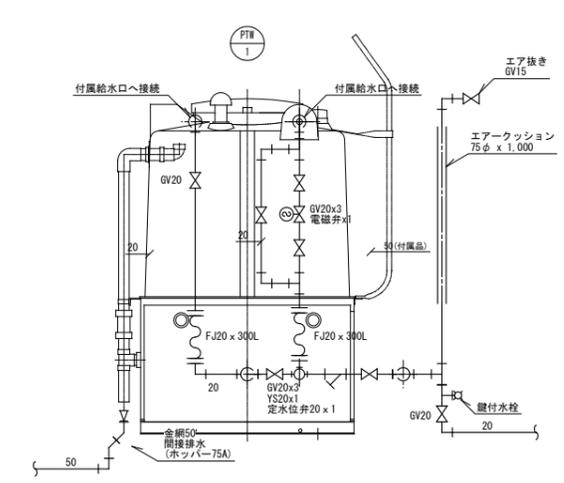
1階 配管図

記号	仕様	寸法 (仕様-主管径-樹径)	設計管底	蓋	備考
①	小口径汚水樹	90L-100-200	GL-400	樹脂製	トラップ樹
②	小口径汚水樹	90Y-100-200	GL-450	樹脂製	
③	小口径汚水樹	90Y-100-200	GL-475	樹脂製	
④	小口径汚水樹	90Y-100-200	GL-485	樹脂製	トラップ樹
⑤	小口径汚水樹	90Y-100-200	GL-530	樹脂製	
⑥	小口径汚水樹	90L-100-200	GL-585	樹脂製	
⑦	小口径汚水樹	90Y-100-200	GL-635	樹脂製	
⑧	小口径汚水樹	90Y-100-200	GL-690	樹脂製	
⑨	小口径汚水樹	90Y-100-200	GL-715	樹脂製	
⑩	小口径汚水樹	90L-100-200	GL-400	樹脂製	トラップ樹
⑪	小口径汚水樹	90Y-100-200	GL-405	樹脂製	トラップ樹
⑫	小口径汚水樹	90Y-100-200	GL-410	樹脂製	
⑬	小口径汚水樹	90Y-100-200	GL-415	樹脂製	
⑭	小口径汚水樹	90Y-100-200	GL-430	樹脂製	
⑮	小口径汚水樹	90Y-100-200	GL-460	樹脂製	
⑯	小口径汚水樹	90Y-100-200	GL-485	樹脂製	
⑰	小口径汚水樹	90Y-100-200	GL-490	樹脂製	
⑱	小口径汚水樹	90Y-100-200	GL-500	樹脂製	トラップ樹
⑲	小口径汚水樹	90Y-100-200	GL-520	樹脂製	
⑳	小口径汚水樹	90Y-100-200	GL-530	樹脂製	トラップ樹
㉑	小口径汚水樹	90Y-100-200	GL-550	樹脂製	
㉒	小口径汚水樹	90L-100-200	GL-400	樹脂製	
㉓	小口径汚水樹	90Y-100-200	GL-715	樹脂製	
㉔	既存樹		GL-725		接続
㉕	小口径汚水樹	90L-100-200	GL-400	樹脂製	トラップ樹
㉖	小口径汚水樹	90Y-100-200	GL-450	樹脂製	
㉗	小口径汚水樹	90Y-100-200	GL-455	樹脂製	
㉘	小口径汚水樹	90Y-100-200	GL-480	樹脂製	トラップ樹
㉙	小口径汚水樹	90Y-100-200	GL-490	樹脂製	
㉚	小口径汚水樹	90L-100-200	GL-530	樹脂製	
㉛	小口径汚水樹	90Y-100-200	GL-545	樹脂製	トラップ樹
㉜	小口径汚水樹	90Y-100-200	GL-585	樹脂製	
㉝	小口径汚水樹	90Y-100-200	GL-635	樹脂製	
㉞	小口径汚水樹	90Y-100-200	GL-700	樹脂製	
㉟	小口径汚水樹	90Y-100-200	GL-400	樹脂製	トラップ樹
㊱	小口径汚水樹	90Y-100-200	GL-405	樹脂製	トラップ樹
㊲	小口径汚水樹	90Y-100-200	GL-410	樹脂製	
㊳	小口径汚水樹	90Y-100-200	GL-415	樹脂製	
㊴	小口径汚水樹	90Y-100-200	GL-430	樹脂製	
㊵	小口径汚水樹	90Y-100-200	GL-435	樹脂製	
㊶	小口径汚水樹	90Y-100-200	GL-440	樹脂製	
㊷	小口径汚水樹	90Y-100-200	GL-460	樹脂製	
㊸	小口径汚水樹	90Y-100-200	GL-485	樹脂製	
㊹	小口径汚水樹	90Y-100-200	GL-490	樹脂製	
㊺	小口径汚水樹	90Y-100-200	GL-500	樹脂製	トラップ樹
㊻	小口径汚水樹	90Y-100-200	GL-520	樹脂製	
㊼	小口径汚水樹	90Y-100-200	GL-530	樹脂製	トラップ樹
㊽	小口径汚水樹	90Y-100-200	GL-545	樹脂製	
㊾	小口径汚水樹	90L-100-200	GL-400	樹脂製	
㊿	小口径汚水樹	90Y-100-200	GL-795	樹脂製	
	既存樹		GL-805		接続
⑤①	小口径汚水樹	90Y-100-200	GL-435	樹脂製	

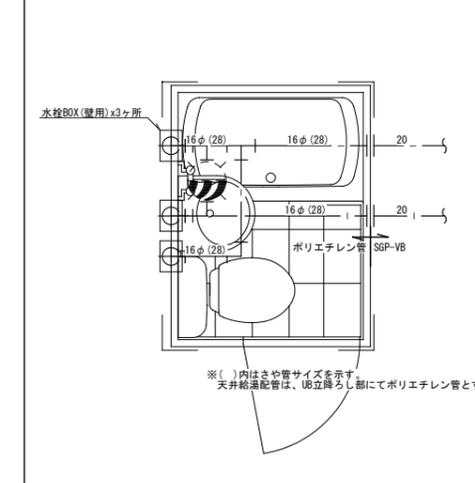
※設計管底は設計GL±0を基準とする。  
樹深さは参考とする。



受水槽入り詳細図 S=1/20

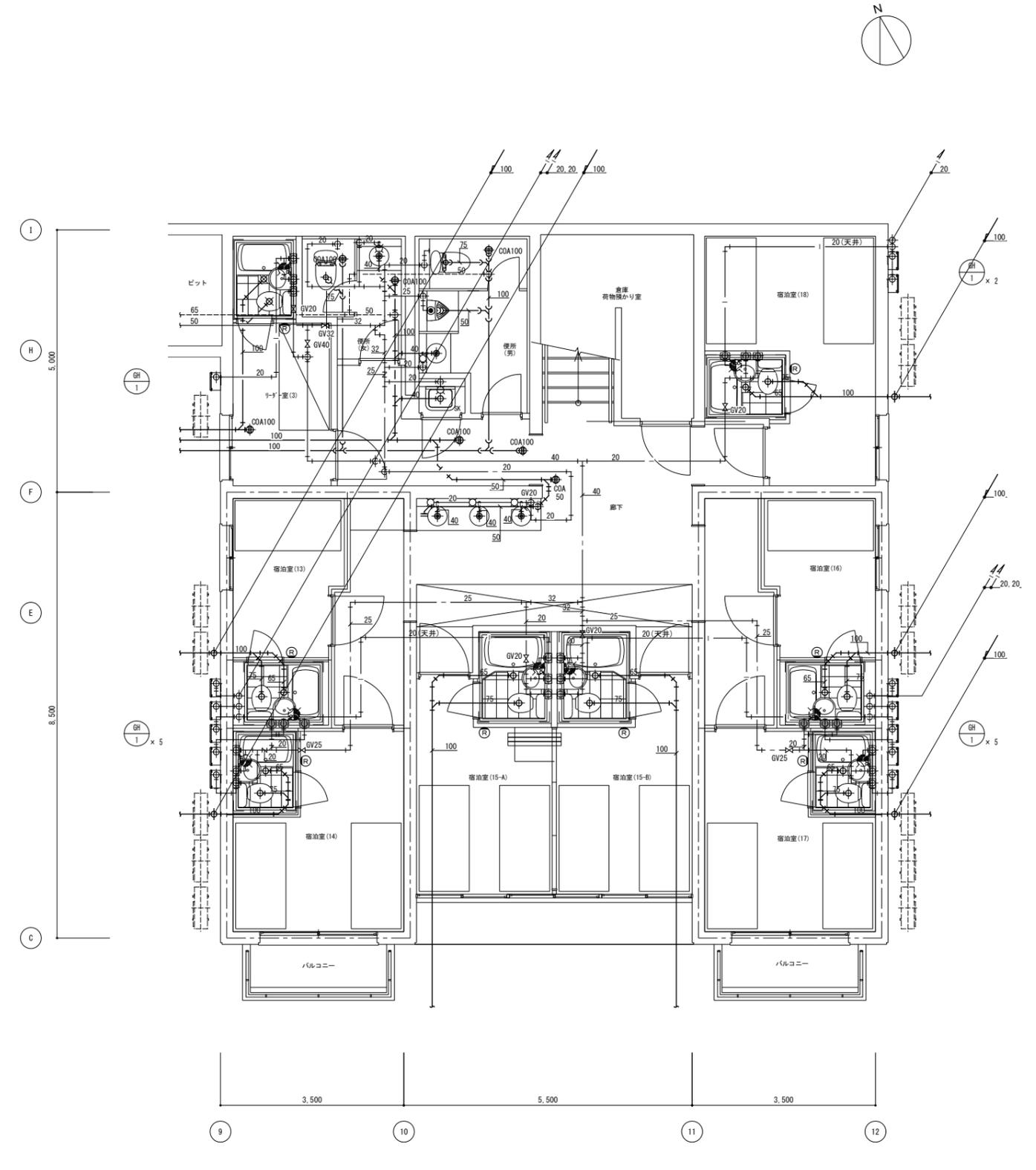
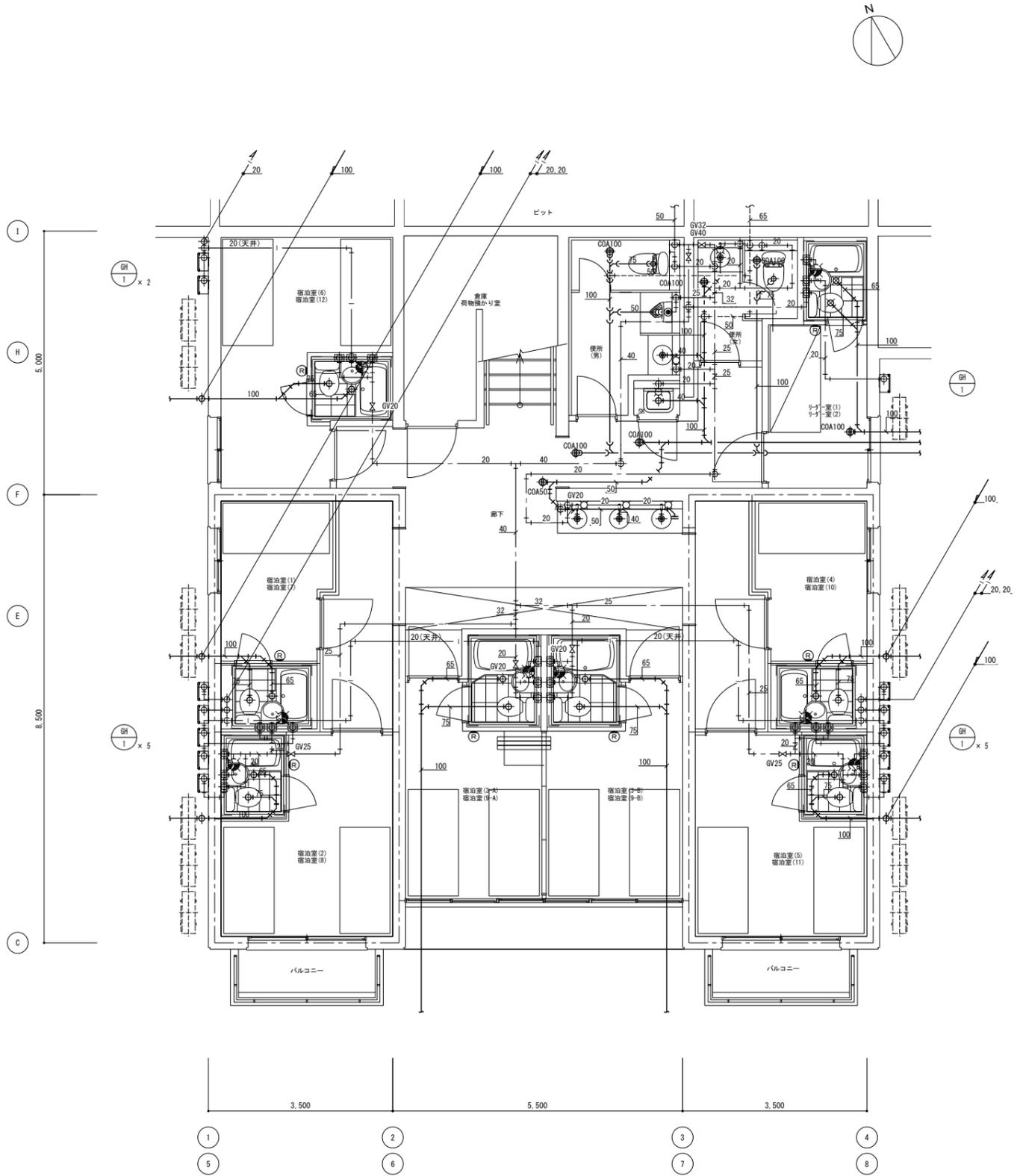


UB給水・給湯配管サイズ



注) ・外壁貫通部は、配管径のワンサイズ大きい口径にてコア抜きを行う事。  
・既存貫通部を極力利用する事。  
・コア明け部分は非破壊検査(レントゲン調査など)を行う事。  
・破線は既存配管、実線は新設配管とする。  
・●は埋設表示権を示す。

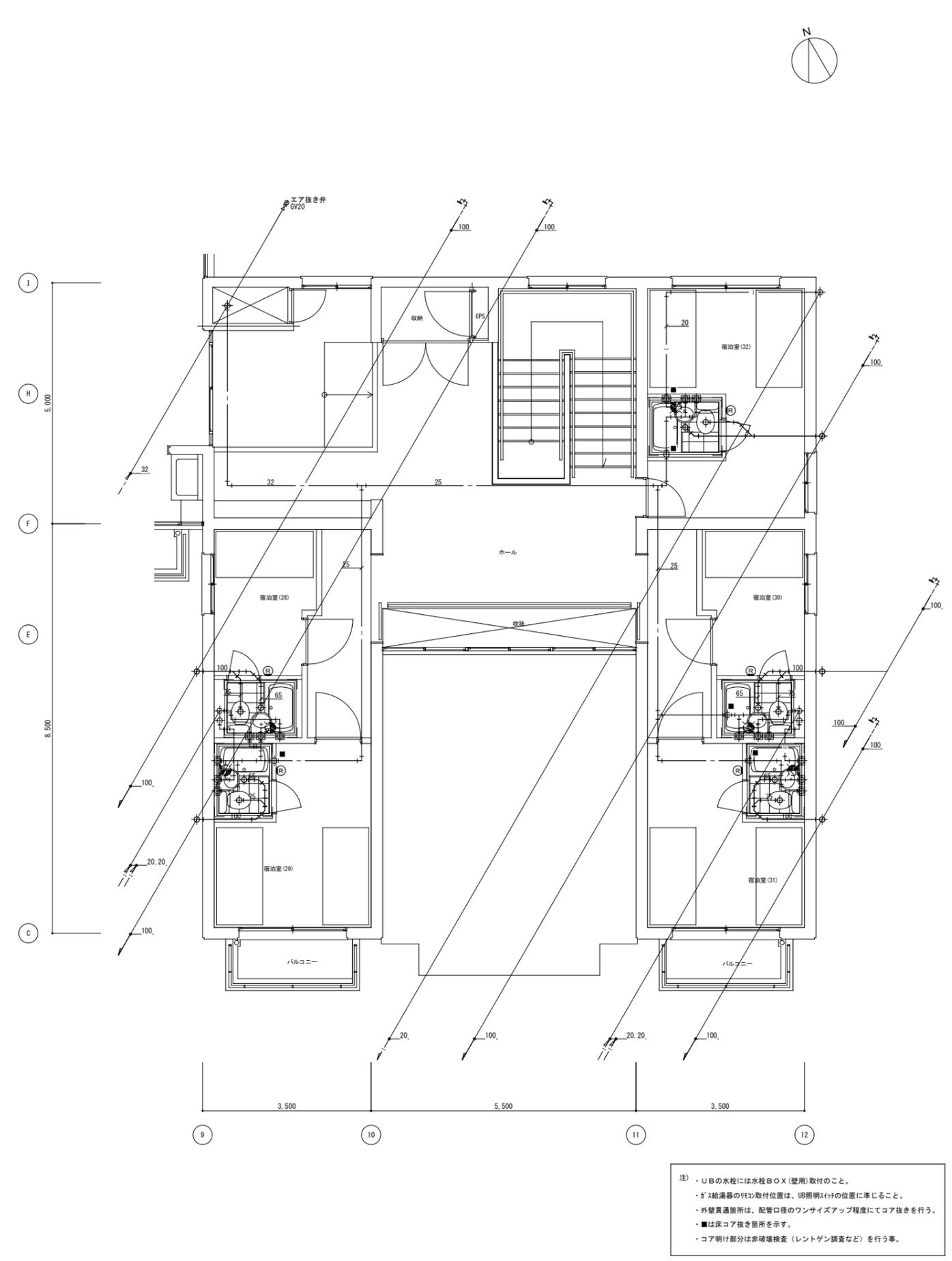
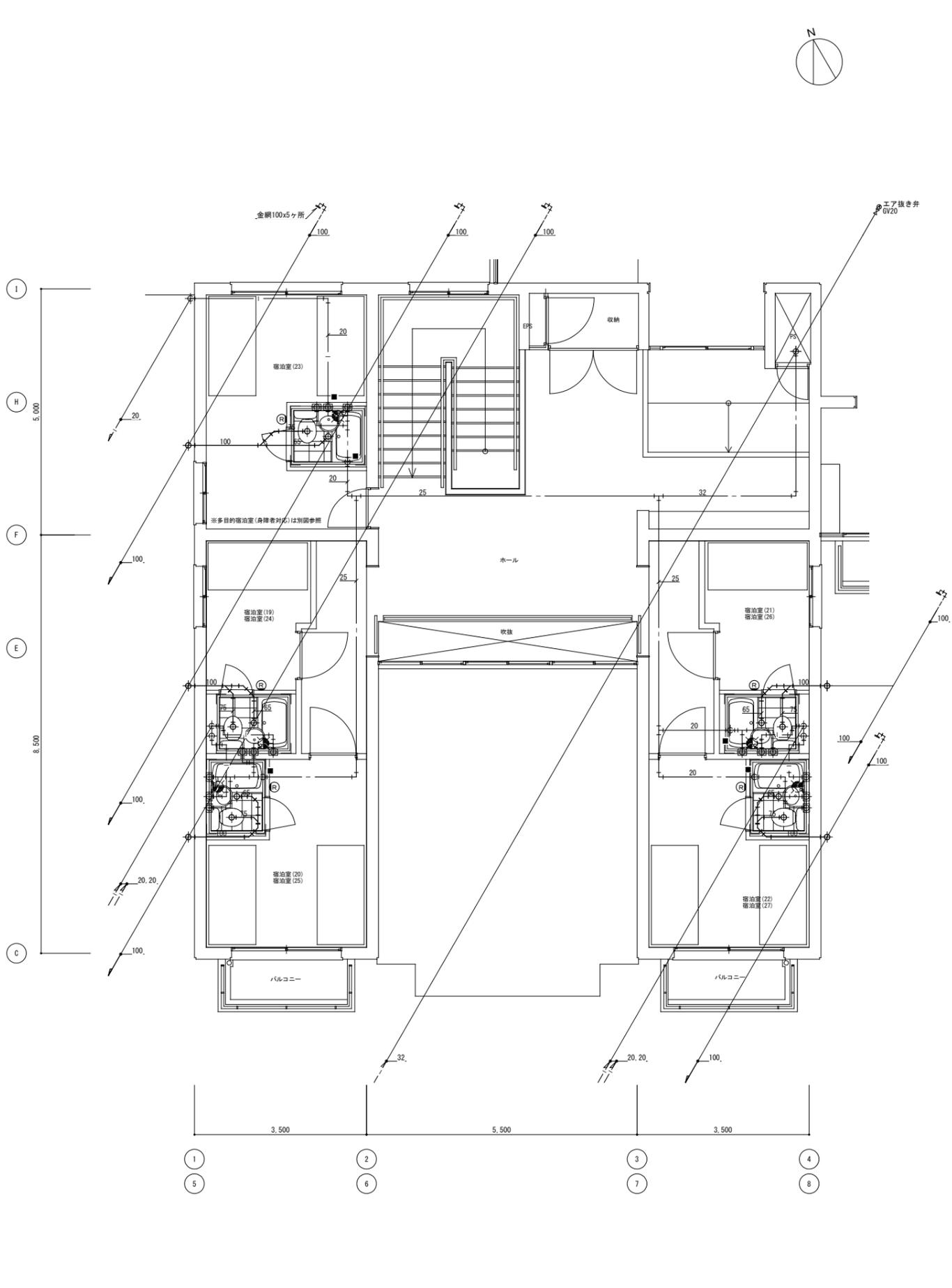




注) ・UBの水栓には水栓BOX(壁用)取付のこと。  
 ・ガス給湯器の排気取付位置は、UR照明取付の位置に準ずること。  
 ・特記なき限り、床コログシ配管とする。  
 ・外壁貫通箇所は、配管口径のワンサイズアップ程度にてコア抜きを行う。  
 ・コア明け部分は非破壊検査(レントゲン調査など)を行う事。

NOTE	株式会社あい設計 東京支社 一級建築士事務所 一級 東京都知事登録 第55499号 設計業務名称 国立夜須高原青少年自然の家ドリーム棟 宿泊室修繕発注支援業務	独立行政法人国立青少年教育振興機構 財務課長 室長 施設管理室	JOB No	DATE	TITLE 国立青少年教育振興機構 国立夜須高原青少年自然の家 ドリーム棟宿泊室等機械設備改修工事	DWG No M 009

SCALE A1 : 1/50  
A3 : 1/100

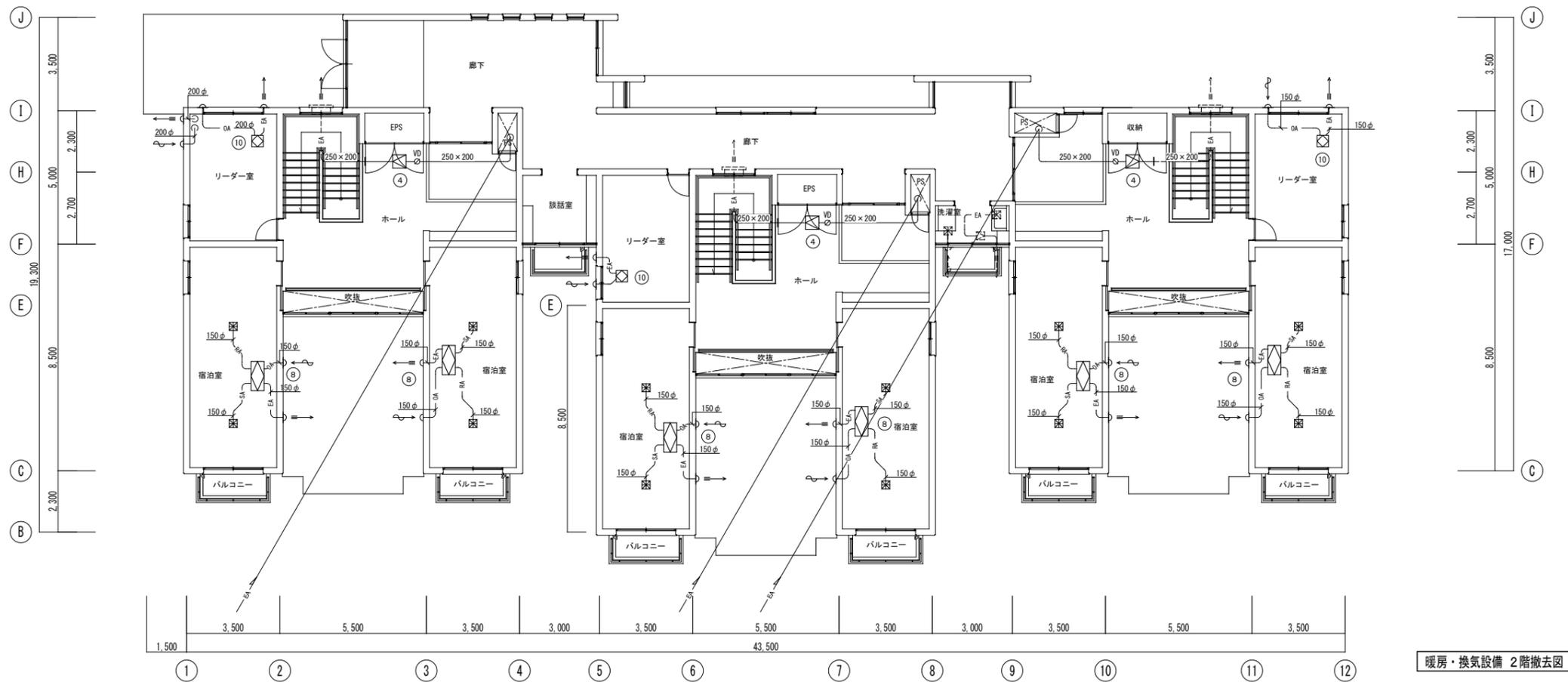


注) ・UBの水栓には水栓BOX(壁用)取付のこと。  
 ・ガス給湯器のリボン取付位置は、UB照明取り付けの位置に準じること。  
 ・外壁貫通箇所は、配管口径のファンサイズアップ程度にてコア抜きを行う。  
 ・■は床コア抜き箇所を示す。  
 ・コア明け部分は非破壊検査(レントゲン調査など)を行う事。

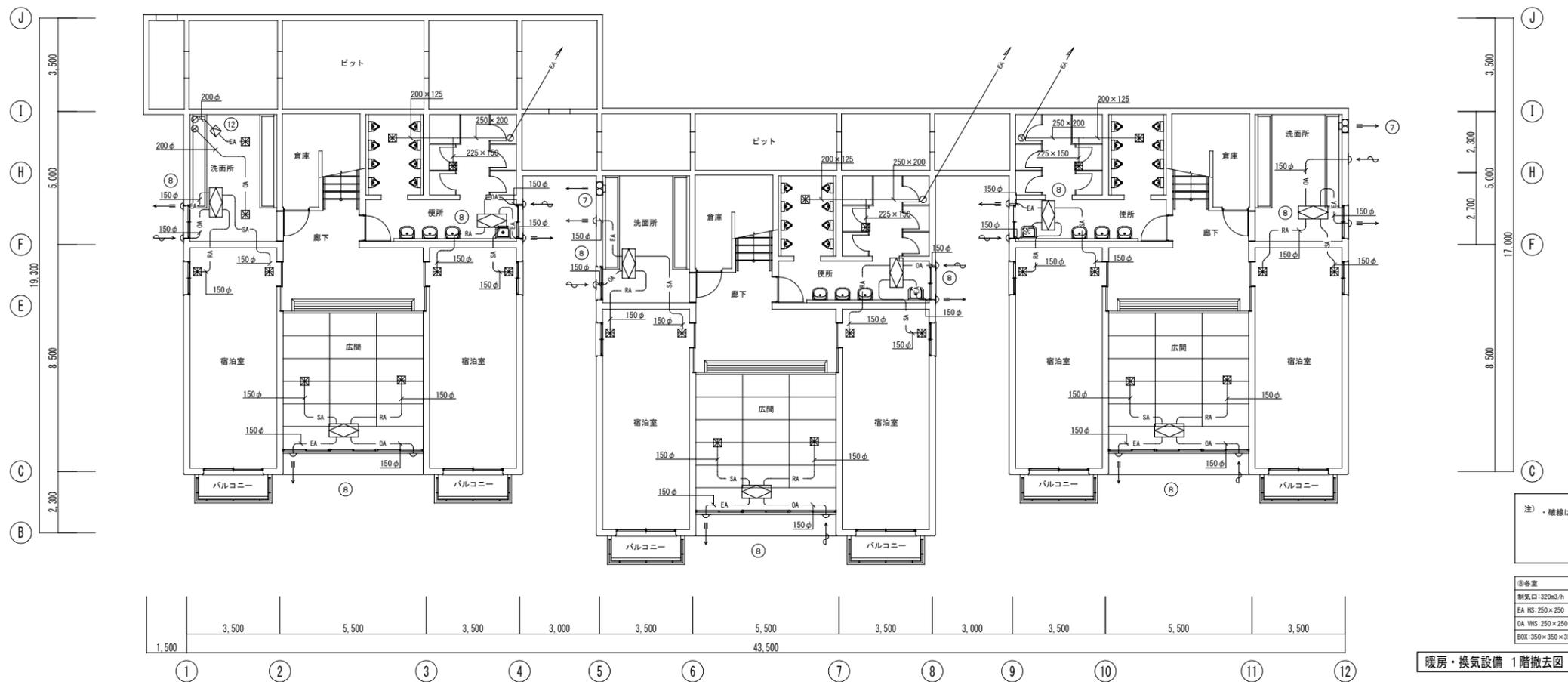
NOTE	株式会社あい設計 東京支社 一級建築士事務所 一級 東京都知事登録 第55499号 設計業務名称 国立夜須高原青少年自然の家ドリーム棟 宿泊室修繕発注支援業務	独立行政法人国立青少年教育振興機構 財務課長 室長 施設管理室	JOB No	DATE	TITLE 国立青少年教育振興機構 国立夜須高原青少年自然の家 ドリーム棟宿泊室等機械設備改修工事	DWG No M 010







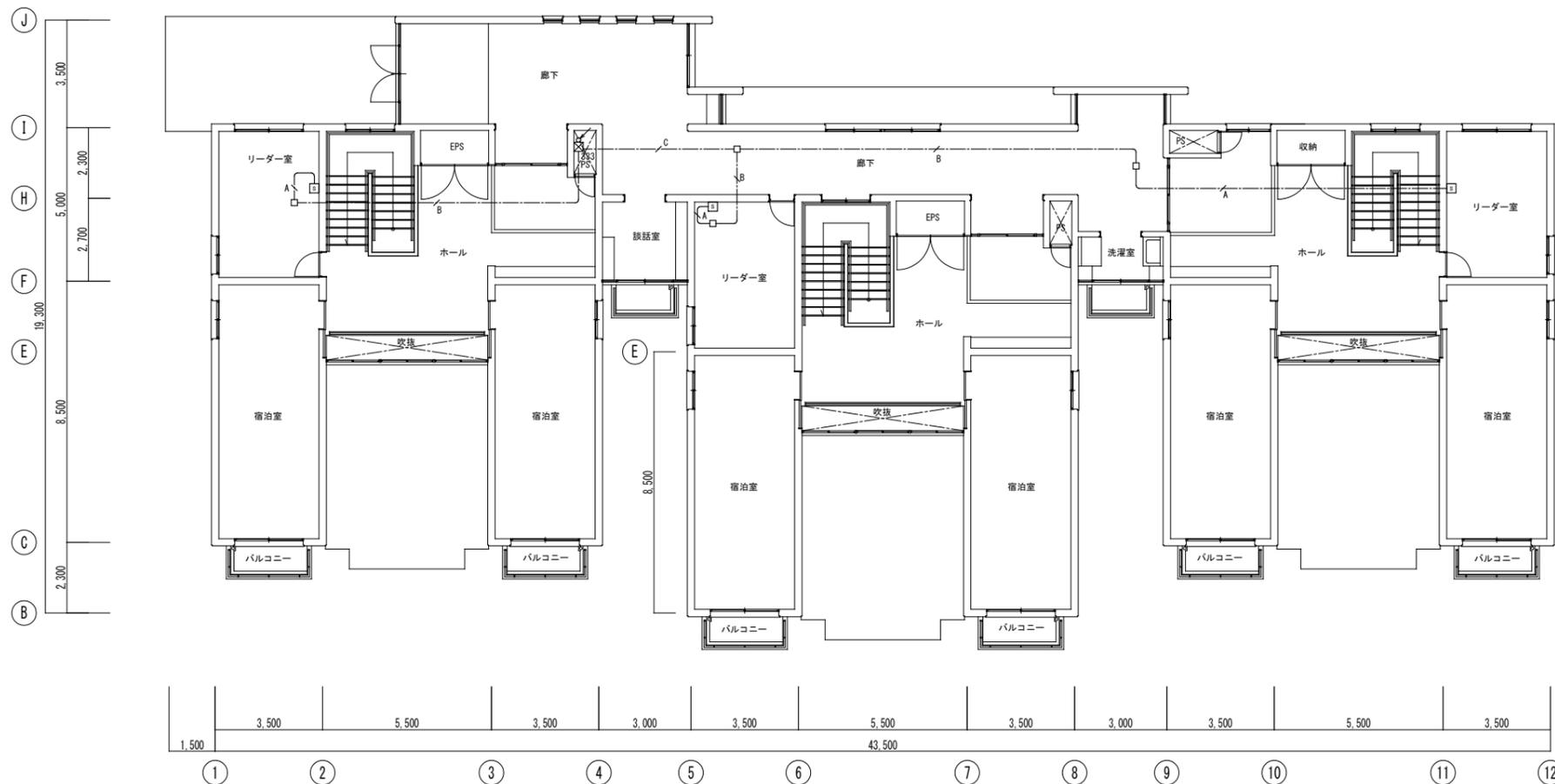
暖房・換気設備 2階撤去図



暖房・換気設備 1階撤去図

注) ・破線は既存、実線は撤去とする。

各室	各所トイレ
制気口: 320 $\phi$ /h	制気口: 420 $\phi$ 制
EA HS: 250 $\times$ 250	GV: 250 $\times$ 250
OA WS: 250 $\times$ 250	
BOX: 350 $\times$ 350 $\times$ 350	
24	各所トイレ
	制気口: 600 $\phi$ 制
	GV: 250 $\times$ 250
	3



自動制御設備 2階撤去図



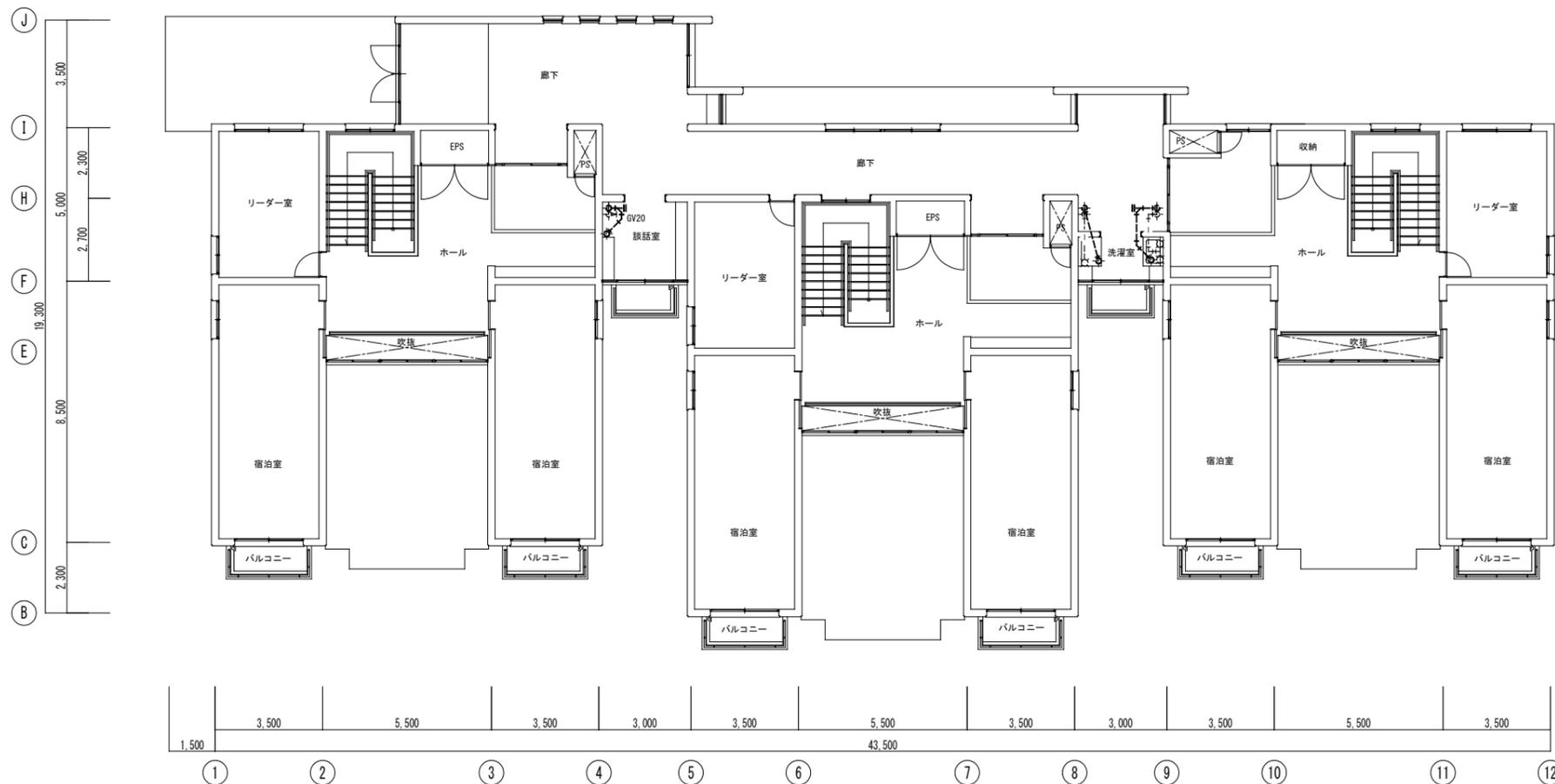
自動制御設備 1階撤去図

特記なき記号は下記による。

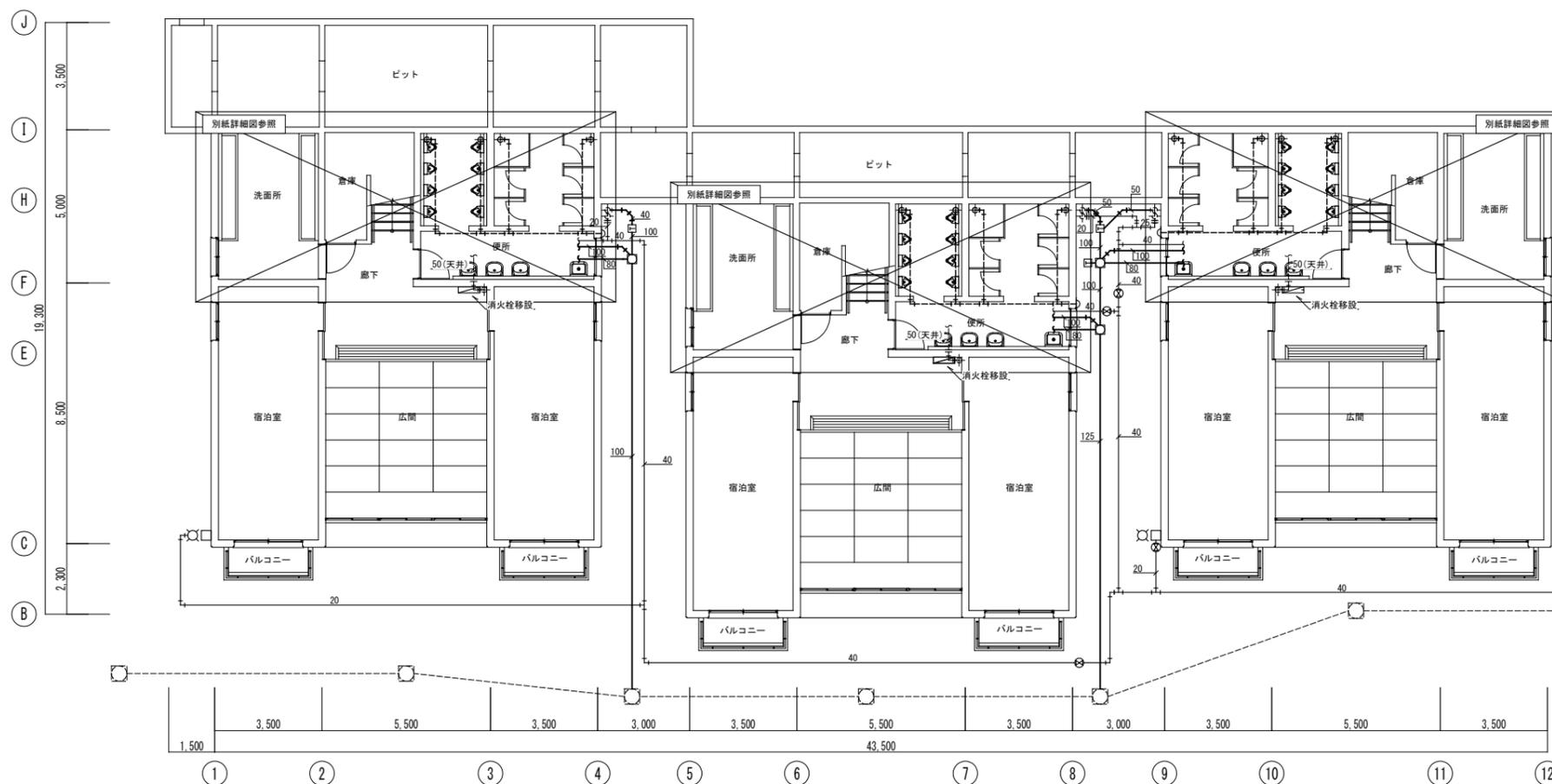
記号	名称	仕様
□	ファンコイルスイッチ盤	別途電気設備工事
☒ 333	プルボックス	300×300×300
□	位置ボックス	
---	天井こがし配線	
---	天井隠ぺい配線	
---	床隠ぺい配線	
---	露出配線	
---	地中埋設配線	

特記なき配線は下記による。

---	A	IV1.25×3(25)
---	B	IV1.25×3(19)
---	C	IV1.25×6(19)
---	D	IV1.25×9(25)



衛生設備 2階撤去図



衛生設備 1階撤去図

階	種別	名称	規格	数量	単位	備注
1F	配管	給水管	φ40	10	m	既存
		排水管	φ75	10	m	既存
		給水管	φ20	10	m	既存
		排水管	φ50	10	m	既存
		給水管	φ25	10	m	既存
		排水管	φ40	10	m	既存
		給水管	φ15	10	m	既存
		排水管	φ30	10	m	既存
		給水管	φ10	10	m	既存
		排水管	φ20	10	m	既存
		給水管	φ8	10	m	既存
		排水管	φ15	10	m	既存
2F	配管	給水管	φ40	10	m	既存
		排水管	φ75	10	m	既存
		給水管	φ20	10	m	既存
		排水管	φ50	10	m	既存
		給水管	φ25	10	m	既存
		排水管	φ40	10	m	既存
		給水管	φ15	10	m	既存
		排水管	φ30	10	m	既存
		給水管	φ10	10	m	既存
		排水管	φ20	10	m	既存
		給水管	φ8	10	m	既存
		排水管	φ15	10	m	既存

注) ・破線は既存、実線は撤去とする。  
 ・2階談話室、洗濯室は改修対象外。

器具器具表 (数量別)

器具名称	記号等	注	設置場所・個数										合計	備考				
			洗面所	トイレ	廊下	倉庫	その他	計	洗面所	トイレ	廊下	倉庫			その他	計		
洗面水栓	VC-317	FV DVF	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	15	取付機具
排水機器	VC-910	FV DVF	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	1	
+	VDC-910	RECON FV (排水機器, COA50) DVF	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1		
小便器	VTU-320R	1/2ワンク	4	5	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	24		
水栓器	VL-630		1	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	9		
+	VDL-510	ワンハンドル																
特殊洗レ	VS-210		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	3		
ハイタンク	YBT-416	4箇所 器具取付式 (取付機, 器具取付機, 器具取付機)	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	6	器具取付機	
+	YBT-420	5箇所 器具取付式	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	5		
窓	360×450×5"		1	2	5	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	39		
+	600×300×5"																	
水石口入れ	Q354		1	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	9		
ウエーター	727型S4	7箇所 器具取付機 300W (1~200W)	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	7		
手洗器	VL-640	ワンハンドル 2-SIB付	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1		
+	VL-710																	

